

# 4/9 令和3年度沖縄市表彰式典

一般表彰11人と11団体、功労表彰1人の功績を称える令和3年度沖縄市表彰式典が、4月9日に市民会館で開催され、桑江市長から一人ひとりに表彰状と花束が贈られました。

本市の政治・経済・文化・社会その他各般にわたって市政振興に寄与し、広く市民の模範と認められる行為があった方々を表彰するもので、受賞者の家族や知人なども数多く来場し、共に受賞を祝いました。

## 被表彰者(敬称略・順不同)

### 【一般表彰(個人)】

- 経済土木関係の振興発展に貢献…………… 饒波 正司
- 建築行政に尽力…………… 山城 一美
- 更生保護活動に尽力…………… 高江洲 八重子
- 地域医療、保健、福祉活動に貢献…………… 我喜屋 重光
- 本市芸能文化の発展と後進の育成指導に貢献…… 久場 良昌 富里 敬子 瑞慶覧 米子
- 社会福祉の向上に貢献…………… 平田 美砂子 田里 邦子 友寄 昭子
- 地域福祉の向上に貢献…………… 川上 のり子

### 【一般表彰(団体)】

- 公益のため私財を寄附

株式会社 セゾン沖縄・上門工業 株式会社・有限会社 三基土木・沖縄セルラー電話 株式会社・株式会社 基土木  
中部興産 株式会社・株式会社 仲本工業・株式会社 薬正堂・沖縄彭大家族 株式会社・拓南製鐵 株式会社  
一般社団法人 沖縄県私立保育園連盟

### 【功労表彰(個人)】

- 市政発展に貢献…………… 仲宗根 弘



## 4/11 Our First Games

沖縄アリーナで観客を入れた初のイベント「Our First Games」が開催され、地元の小中学生、キングスユースチームによるゲームや、プロバスケットボール男子Bリーグの琉球ゴールデンキングスによる3Pシュート対決や紅白戦が行われました。

キングスの4人が参戦した3Pシュート対決では、岸本隆一選手が頂点に立ち、豪快なダンクが炸裂するなど白熱した紅白戦は、48-48で引き分けとなりました。

田代主将は「特別な場所にいる感覚で緊張した。場慣れして、気迫を伝えていきたい」と話し、岸本選手は「すごく充実した日になった。チャンピオンシップをこのアリーナで戦いたい。」と話しました。

収容人数8千人(最大1万人)の会場に約3,500人のファンが駆け付け、すり鉢状の観客席から臨場感あふれるゲームを楽しみました。



## 3/12 歌の感染予防対策協力で感謝状

新型コロナウイルスに感染しないようマスク着用を促す歌を合唱し、感染症予防対策の啓発に協力したコザ中学校2年3組に対し、桑江市長から感謝状を贈呈しました。

生徒たちが録音した楽曲「の一ますく のーらいふ」は、市役所庁舎内等で放送され、明るく、楽しく、マスク着用の大切さを市民に伝えました。

出席した友寄優姫(ゆめ)さんは「自分たちの歌が感染症予防に役立ったことは、とても嬉しい」と笑顔で話しました。



## 3/18 蝶のように羽ばたけ、こどもたち

山内幼稚園を卒園する74人の園児たちが、園を巣立ち大きく羽ばたいてほしいという思いを込め、修了記念セレモニーとして、オオゴマダラの放ちゅうを行いました。

地域の学校ボランティアの上原正高さんの協力により整備された園内にあるチョウ園。園児達は、オオゴマダラチョウを幼虫のころから丁寧に飼育しました。

小さな手から一斉に飛び立ったオオゴマダラに向かい、園児達は歓声をあげ、手を振っていました。



## 3/20 はじめまして「光」です

沖縄こどもの国で14年ぶりに誕生したアミメキリンの赤ちゃんの命名式が行われ、公募で集まった1226票の中で最も多く応募のあった「光(ひかり)」と名付けられました。

命名者を代表して出席した石川和枝さんは「こどもの国に暖かな光を届ける存在になってほしいという願いを込めた。こどもにも大人にも夢を与えてくれるよう、元気に育て欲しい」とあいさつしました。

身長が約2mに成長した「光」は、園の人気者です。



## 4/5 盛島清齋(高行)氏書びょうぶ贈呈式

本市在住の書家盛島清齋(せいあん)〔高行〕氏等が市役所を訪れ、沖縄市へ書びょうぶを贈呈しました。

盛島氏は「書びょうぶには、万国津梁の鐘の銘文を書いている。万国津梁の鐘を鑄造させた琉球国王尚泰久は、王子時代を越来の地で過ごしており、ご縁のある沖縄市へ贈呈させていただきます。」とあいさつしました。

桑江市長は「魂を込めて書かれた書びょうぶを市の誇りとして大切にします」とお礼の言葉を述べました。



## 3/22~26 人気の品が勢ぞろい！市産品PR展

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、販売機会が減少している市内の事業者を応援することと、多くの市民に市産品への愛着を深めてもらうことを目的に、市役所で「第2回コロナに負けるな！市産品PR展(食品限定)」を開催しました。

昨年12月に続き2回目の開催となった今回は、初出展2か所を含む市内11事業者が出展。お菓子や黒糖、ハチミツ、コーヒーなどの品々が展示即売され、市役所へ訪れた市民等へ市産品をPRしました。



## 3/23~26 市が誇る知花花織の成果展

令和2年度 後継者育成事業 知花花織研修成果展が、市役所で開催されました。

成果展には、研修生6人(岩元蒼波(あおば)さん、大城久美子さん、金城花音さん、金城和香奈さん、島袋美和子さん、宮崎規江(のりえ)さん)が、昨年の7月から9か月かけて織り上げた美しい知花花織の作品が展示されました。

研修生は「大変なことも多かったが楽しかった」、「良い仲間と先生のおかげで、楽しんで取り組めた」等と話しました。



## 3/12~14 コザに集いし匠の技

県内最大級の工芸品の展示販売会「第19回沖縄市工芸フェア」が、開催されました。

会場となったのは、コザゲート通りや中央パークアベニューにある店舗コザ工芸館ふんどう、zazou、コザメトロ、まぜ麺マホロバコザ、プレイヤーズカフェ、tesio等。

「週末、KOZAの街で会いましょう」をテーマに、市内をはじめ、離島を含む県内各地から約60の工芸・工房が出展し、陶器、ガラス、染物、金工品等の展示販売を行ったほか、漆喰シーサー、竹細工、知花花織等の制作実演も行われました。

工芸フェアは、老若男女問わず大勢の人が訪れ大盛況を収め、お店の方からは「作ったものが思いのほか早く売り切れてしまったので、急いで作っている」、「コザが昔のような賑わいを取り戻したようで嬉しい」など、喜びの声が聞かれました。



### 3/27 心に響く美しい歌声とピアノの音色

沖縄市ジュニア合唱団の第12回定期演奏会が、沖縄市民小劇場あしびなーで開催されました。

小学1年生から高校2年生までの19人の団員による独唱のあと、団員全員による首里城復興支援ソング「SYURI NO UTA」の合唱が披露され、観客席から拍手が溢れました。

団員を代表しあいさつを行った徳門優さんは「これからもコロナに負けず、頑張って活動を続けていくので、応援をよろしくお願いいたします」と思いを伝えました。



### 3/28 ジュニアオーケストラ定期演奏会

沖縄市ジュニアオーケストラの第6回定期演奏会が、沖縄市民小劇場あしびなーで開催されました。

44人の団員が「わかばのワルツ」、「カノン」、「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」などの楽曲を演奏したほか、各パートによるアンサンブルも披露しました。

ヴァイオリンの関桜香(おうか)さんは「団員同士と一緒に音を合わせるのが楽しい」、森山鈴音(りおん)さんは「全員で頑張って演奏会を開催できて、とてもうれしい」と笑顔で話しました。



### 3/14 10年後の沖縄市をもっと素敵に

沖縄市青年団協議会、沖縄市及び沖縄市教育委員会が、次代を担う青年人材の育成を図ることを目的に、「SDGs『どうなるの？2030年の沖縄市』～知ってつなぐわったー未来～」と題した沖縄市青年フォーラム2021を沖縄市農民研修センターで開催しました。

約30人の参加者は、SDGsについての基礎知識を学び、10年後にSDGsの目標を達成するため、今、どのようなことを行えばいいか等のグループディスカッションを行いました。



### 3/24 ママと赤ちゃんの強い味方「ゆるるん」卒所式

沖縄市若年妊産婦の居場所「ゆるるん」の第1回卒所式が、沖縄県助産師会母子未来センターで行われ、5組の母子が卒所を迎えました。

ゆるるんを利用していた卒所者は「居心地のいい場所で、子育てに感じていた焦りがなくなっていった。仕事が忙しく、ゆるるんに通えなくなっても、頻りに連絡をくれ、一緒に子育てをしている気持ちになれた」と話しました。

ゆるるんは、10代の妊産婦が、こどもが3才になるまでの期間、妊娠・出産・育児に関する相談などを行うことで、孤立することなく、安全で安心な産前・産後を過ごし、安定した生活ができるよう支援する場所です。

助産師や保育士などが、利用者の状況に合わせ、対応しています。こども相談・健康課までお気軽にお問い合わせください。TEL.098-939-1252



### 4/3 すべての世代に、地域に、可能性を

特定非営利活動法人まちづくりNPOコザまち社中とSAPジャパン株式会社の共同による多世代向けICTプログラムの実施拠点「Hanaわらび」のオープニングセレモニーが、一番街商店街内の同施設で行われました。

Hanaわらびは、ものづくりを拠点とした地方創生の成功例である福井県鯖江市のHana道場の姉妹校で、「すべての世代に可能性を」を目標に掲げ、ものづくりワークショップやプログラミング教室等を開催し、人材育成を支援します。



### 4/7 里親に対する厚生労働大臣表彰受賞報告

永年にわたり里親として児童の健全な育成に専念されたとして、厚生労働大臣表彰を受賞した名幸葆哲(やすのり)氏・啓子氏が桑江市長に受賞の報告を行いました。

啓子氏は「沖縄県は里親に対する関心が高いため、こども達も里親制度のことを知ってほしいです」と話しました。

桑江市長は「深い愛情を持って活動されていることに感動しました。制度の整備が進みさらに支援が充実することを期待します」と話しました。



### 3/11 高齢者が元気なまちを目指して

令和3年度から5年度における沖縄市の高齢者施策及び介護保険事業計画の方向性を定める「第7次沖縄市高齢者がんじゅう計画」について審議を行った、沖縄市福祉のまちづくり推進懇話会の上地武昭会長から、與那嶺智才健康福祉部長へ答申書が手渡されました。

今後は、懇話会の意見も踏まえ、地域包括支援センターを拠点とした介護予防や認知症施策、在宅医療・介護連携の推進、生活支援体制整備などの取組を展開していきます。



### 4/1~8 夢と希望を胸に 新採用職員研修

令和3年度の沖縄市役所新採用職員研修が実施されました。辞令交付式で、桑江市長は「同僚、先輩、市民に鍛え上げられて良い人材になってほしい」と激励の言葉を贈りました。

20人の新採用職員は、本市の歴史や文化、地方自治制度、接遇等について学んだり、実際に市内のコンビニに設置してあるAEDを使い、救急救命講習を行ったりしました。

最終日には、「初心を忘れない」、「対話を大事にする」など、働く上で大切にしたいことを一人ひとり発表しました。



### 3/26 感染防止対策巡回キャンペーン

玉城デニー沖縄知事と仲本兼明副市長等が、中の町社交街等で、道行く人に新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を呼び掛けるチラシを配り、模範となる感染防止対策の取り組みを行っている居酒屋、スナックを巡回しました。

各店舗の入り口の検温、手指消毒及びお客さん同士の距離の取り方等店内の感染対策の徹底状況を確認しました。

この沖縄県による巡回活動は、本市を含む5市で行われました。

